キャンサーひょうご

ひょうごがん患者連絡会ニューズレターNo.23

発行責任者 黒田裕子　　編集 武内・田村・石上・草野

〒651-2109 神戸市西区前開南町 1-2-1 阪神高齢者障害者支援ネットワーク内
TEL 078-976-5050 FAX 078-977-0224　http://hyogo-capa.net/

新 年 度 を 迎 え て

会長　　黒 田 裕 子

“ひょうごがん患者連絡会”が発足して５年目を迎えることになりました。

これもひとえに皆様のお力添えと心より感謝申し上げます。がん患者が一同に集合して今困っている問題を共に考え、がん患者であっても一人の人間として日々の生活が安全・安心・快適に過ごせるように、会員の理解と協力をベースに会員みんなで支え合いながら組織体制を整備し“行動する患者団体を目指して”活動をすすめていきたいと考えています。

“ひょうごがん患者連絡会”の存在と活動が広く認知されるようになり、幅広い活動展開の素地ができてまいりました。今年度も更に一層充実した活動を実施するために、１４団体がひとつとなり、新たな気持ちで先進的な活動を目指して様々なことを展開してまいりたく思います。そして、がん患者がいきいきと安心した暮らしが出来るための政策などにも提言を出し、分からないことは、それを模索し、思考して行政、および議会などにご理解いただくよう努めてまいります。

私たちは、5 月 17 日開催の第 4 回定期総会において、今年度の重点課題を次のように定めました。

１）２０１３年度からの次期がん対策推進計画策定検討において、県当局及びその他の関係機関と連携して、現状における問題点の解決を図ると同時に、厚労省の新たながん対策推進基本計画にも対応する充実した計画の作成を目指す。

２）兵庫県のがん対策をがん患者団体、行政・立法関係者、医療・福祉関係者、報道関係者、および民間事業者が相互に連携し県民が一体となって強力に推進するため、法的な裏付けとなる兵庫県がん対策推進条例の制定を目指す。

３）切れ目のないがん診療体制を目指す「地域連携診療クリティカルパス」の運用は漸く始まった段階であり、連携パスが適用されて在宅で安心して療養生活の続けられる患者は がん患者の１０％程度に過ぎない。医療関係機関と協力して早期に拡充するような仕組みの構築を目指したい。

４）全国的に下位に低迷している兵庫県のがん検診受診率を向上させるために、① がん検診受診率の低い市町を訪問して改善策を担当者と一緒に検討する活動、及び、② 市町のがん対策推進員研修会に講師を派遣して啓発する活動を引続きすすめていく。

５）がん拠点病院相談支援センターの相談機能の向上に寄与すべく連携に努める。

６）引続き“がん医療”ならびに“がん患者会のあり方”に関する公開研修講座を開催する。テーマはがん患者・家族ならびに一般市民の関心が高く、かつ がん対策推進のための先進的な課題とする。

以上の課題を解決するために、私たちがん患者連絡会が多くのがん患者会の代表として、成果に結びつく提言ができるよう研鑽を重ねながら実践してまいりたいと考えています。

今年度もどうぞ皆様のお力添えをお願い致します。

平成２４年度の活動を進めるにあたって

副会長　山本宗男（肝炎友の会兵庫会長）

人間は、この世に生を受け、80 余年後、殆どの人が亡くなる。しかし多くの人は、そのことを真剣に考えることなく生きている。年を経るにつれて、友人・知人が多くはがんになって亡くなり、死が周りに近づいてきたことを知るが、どこか死を他人事と思っている。医者にがんかも知れないとか、あるいはがんを宣告された時になって、はじめて真剣に考える。

日頃人間は、健康をあたりまえとして、社会的・経済的生活の中に、働き甲斐・生甲斐と喜び・楽しみを見出しているが、生命というその土台が維持されていないと、全てが崩れ無くなってしまいます。

人間は大人になって社会的・経済的生活を送れるよう、成人になるまで教育が行われている。また社会に出ても仕事が出来るよう職場教育がなされています。しかし、生命を維持する教育は十分されているでしょうか。特にこれが必要な中高年にされているでしょうか。否です。がんや成人病を見つける検診は必要ですが、その前の段階に力を注ぐことが大切なのです。次の事項が重要です。

① がんや成人病の検診で悪いところが分っても、遅いのです。まず、予防が必要なのです。そのために健康教育が各世代にされなければなりません。

② 教育がされておれば、検診をもっと多くの方が受けるようになります。

多くの友人知人のがん闘病生活や死は、この健康教育がされておれば、大半は防げたのではないかと考えています。将来各世代特に中高年の健康教育の仕組みが実現していくと思いますが、出来るだけ早くその方向に進むことを願っています。

さて、国・自治体の現在のがん対策推進項目は勿論重要です。国も県もがん対策に力を注いできている事が認識できます。

23 年度、ひょうごがん患者連絡会は色々ながん対策推進項目を掲げて推進して来ましたが、重要項目としては①がん検診受診率向上への参画（兵庫県は全国都道府県の中で 40 位以下）、及び②がん条例への取組でした。

24年度の重要項目は、上記の2項目の継続と共に、24年度中に県が行う予定の、③現行の兵庫県がん対策推進計画を見直して次期がん対策推進計画（5年間計画）を作成することへの参画です。

全員でこの3項目を実りあるものにして行きたいと考えます。また機会のあるたびに、各世代特に中高年の健康教育の必要性を話していきます。

持 て る 力 を 出 し 合 っ て

副会長　伴　智 代（骨髄献血の和を広げる会代表）

東日本大震災から一年が過ぎました。行政がなかなか機能せず、復興どころか復旧もままならない中、被災された方々はもちろん、その方々を支えようとする沢山のボランティアの皆さんが小さいかもしれないけれど自分達の持てる力を出し合って、前に進んで行こうとする力強い光景を様々な場所で見ることができました。人は厳しい状況に直面した時、一人だけでそれに立ち向かっていくことは、多くの困難を背負って生きていくことになります。その時、同じような状況にある仲間や思いを共有してくれる仲間が手を取り合っていくことの重要性を改めて認識することができました。

このことは私達ひょうごがん患者連絡会の存在の意義に通じるところがあると思っています。がんという病気に向き合い、がんであっても、安心して生きていける社会を築いていくために、集まった人達が少しだけ無理をして力を出し、その力を合わせていく、それが、我が「ひょうごがん患者連絡会」の根幹ともいうべき考え方だと言えるのではないでしょうか。そう考えると、今のひょうごがん患者連絡会は参加している人一人ひとりが、様々な分野において、それぞれの立場でそれぞれがやれることを丁寧にやっていくことによって、年を追うごとに存在意義を高めてきていると思います。会員の皆様の力量と意欲に本当に頭が下がります。

翻って自分は・・・と考えると、副会長という立場にありながら、特に昨年一年は何もできていないことを大変申し訳なく思っています。ただ、今年は「造血幹細胞移植推進会議」への患者としての参加やがん条例制定のための活動など、自分にできることを着実に進めていきたいと思っています。さらに会員の皆様と共に、私たちの会が一人でも多くの方々に知ってもらえるようにしていきたいとも考えています。今年もよろしくお願い申し上げます。

ひょうご がん患者連絡会の活動概況を紹介します

（2012 年４、５月 活動分）

事　務　局

2012 年４月 19 日（木）：第 3 回フリートーキング会、及び第 11 回運営委員会を開催しました。

運営委員会での主な決定事項は次の通りである。

１、平成 24 年度の重点課題を次の通り確認した。

①次期がん対推進計画策定に向けての取組

②がん条例制定に向けての取組

③がん検診受診率向上に向けての取組、ほか

２、次期がん対策推進計画に関する県当局との話合い日程案を決定した。

３、公開研修市民講座の概要案を決定した。

2012 年５月 17 日（木）：第 4 回ひょうごがん患者連絡会定期総会、及び第 1 回運営委員会を開催しました。

今年度の活動方針については、会長、副会長の巻頭文に述べられているので重複を避けて、活動の進め方、その他に関する主な決定事項を報告する。

１、次期がん対策推進計画に関する県当局との話合いは、8 月開催予定の県対がん戦略部会の開催前、10 月のパブリックコメント手続き前、ならびに 1 月開催予定の県対がん戦略部会開催前に行うことになっている。当面の、6 月及び 7 月の話合いへの対応策について協議し決定した。

２、今年度の県議会健康福祉常任委員会委員が決まる時期であり、がん条例制定に向けての活動を開始する。

３、ひょうごがん患者連絡会の活動領域を拡大するための一環として、県民各層の参加しやすい土日曜日午後に“がん医療”その他の“がん対策”に関する公開研修講座を複数回開催する。

４、神戸新聞社「子宮頸がん啓発キャンペーン」取材協力、及び三木市「健康の達人」養成講座講師の推薦者を決定した。

2012 年５月 11 日(金)～13 日(日)：日本医療政策機構がん政策情報ｾﾝﾀｰ主催「がん政策サミット 2012 春」に田村事務局長と武内理事が参加しました。

「良い都道府県がん対策推進計画づくり」をメインテーマに以下について交流を行った。

１、「地域がん登録の体制整備を考える」をテーマにした「国会がん患者と家族の会 総会」（代表世話人：尾辻秀久元厚労相、事務局長：梅村聡民主党参議ほか）

２、「国のがん計画から学ぶ（特別セッション）」：門田厚労省がん対策推進協議会会長、鷲見厚労省がん対策・健康増進課がん対策推進官、天野厚労省がん対策推進協議会会長代理、及び堀田ＮＣＣ理事長参加によるジンポジウム

３、患者、行政担当者、議員参加による「がん対策策定のためのグループワーク」

「がん対策推進計画づくり」は今年度の都道府県の重要テーマであり、成果に結びつく施策を織りこんだ、実効のあがる計画づくりが期待されている。

次回の「がんサミット 2012 秋」は 10 月 6 日(土)～8 日(祝)の 3 日間、奈良県で開催される。県当局及び県議会新健康福祉常任委員の皆様もお誘いして参加したい。

2012 年５月 23 日（水）：神戸大学医学部附属病院の「がん患者サポートプログラム開発研究」計画に関するヒヤリングに、田村事務局長と草野ゆずりは明石事務局長が出席しました。

神大病院で検討中の「がん患者サポートプログラム開発研究」計画案に関して、患者会意見のヒヤリングがあった。

この患者サポートプログラムはアメリカで始まり、2000 年代に入って日本各地で試みられるようになったと言われている。この度、兵庫県でも神大病院がこのプログラム開発に取組まれたのを契機に、県内各地の病院に患者サポートプログラムの実施が広がる事を期待したい。

ひょうご がん患者連絡会行事予定（2012 年６月～８月）

日　　時	行事・会費	テ　ー　マ・講　　師	場　　所
６月 21 日（木） 18：00～20：00	疾病対策課との話合い ～次期がん対策推進計画 について～	１、県による計画案の説明 ２、質疑応答	兵庫県民 会館 301 号室
20：00～21：30	第２回運営委員会	・次期がん対策推進計画ほか	
７月 19 日（木） 18：00～20：00	疾病対策課との話合い ～次期がん対策推進計画 について～	１、がん患者連絡会の意見説明 ２、質疑応答	兵庫県民 会館 301 号室
20：00～21：30	第３回運営委員会	・次期がん対策推進計画ほか	
８月 16 日（木） 18：00～20：00	がん患者連絡会 研修公開講座	（定期総会決議による）	兵庫県民 会館 304 号室
20：00～21：30	第４回運営委員会	――――――――	

ニューズレターの編集について

このニューズレターは、４団体から応募いただいた編集委員による協議で編集し、会長の査閲を経て発行しています。

ニューズレターは 2008 年 9 月の創刊号以来、奇数月に発行し、ひょうごがん患者連絡会の活動概要報告及びお知らせページのほかに、文頭に各会員の持ち回り執筆文及び寄稿文を掲載しております。

この第 23 号は「定期総会特別号」として、会長、副会長に執筆頂きました。

第 24 号からは再び会員の持ち回り執筆と致します。みなさま方には、各会員団体等の活動状況などをご一読いただきたくお願い致します　　（ 事 務 局 ）

編集後記

今月号は「定期総会特別号」として、今年度活動方針などを掲載しております。

ひょうごがん患者連絡会は 5 年目を迎えて、その存在と活動が全国的にも認知されるようになってきました。兵庫県で唯一のがん患者団体連合組織として、県民のみなさまの期待に応えられる活動を続け、日本のがん対策の改善に努めて、“がん罹患患者数の少ない社会”、“がんに罹患しても安心して生活の続けられる社会”の実現に貢献したいと考えております。

会員のみなさま、および行政、医療、報道関係のみなさまには、是非ニューズレターをご一読いただき、ご意見などお聞かせいただきたく、よろしくお願い致します。

（ 事務局長　田村美生夫 ）

【差込ページ】

関連団体等の公開講座行事予定（2012 年６～８月）

日時・場所	主催(TEL)・会費	テーマ・主な内容・講師
６月９日（土） 14：00～16：30 兵庫県民会館３０４号室	ゆずりは公開講座 (078-976-5050) 一般 800 円、学生無料	「いま、在宅ホスピスはどうなるか！」 訪問看護ステーション あさんて 管理者　　松本京子氏
６月 17 日（日） 14：00～17：00 酒心館ホール(東灘区御影塚町)	ﾘﾚﾌｫｰﾗｲﾌ芦屋ﾁｬﾘﾃｨｰｺﾝｻｰﾄ (080-4761-7667) 無料（要申込）	「“心のバリヤフリー”コンサート」 演奏：竹内香と小山音楽教室の皆さん ・命のﾘﾚｰ、ｱｳﾞｪﾏﾘｱ、愛の賛歌、ほか
６月 17 日（日） 14：00～16：00 神戸ﾎﾟｰﾄﾋﾟｱﾎﾃﾙ・ﾎﾟｰﾄﾋﾟｱﾎｰﾙ	神戸海星病院市民講座 (申込 Fax078-871-5206) １０００円	「“ひざ”の健康、意識していますか？」 ・神大大学院整形外科学 黒坂昌弘教授 ・女優　有馬稲子氏（人工膝関節装着者）
６月 19 日（火） 16：00～18：00 県立がんセンター西館 2 階	ゆずりは明石公開講座 (078-911-6761 草野) 無　料	「心のケア ～患者の心に寄り添うということ～」 ・がんｾﾝﾀｰの医師・看護師・臨床心理士
６月 23 日（土） 12：00～16：00 県立美術館ミュージアムホール	しみん基金・ＫＯＢＥ (078-230-9774) １０００円	「今、被災地で起きている事、伝えたい事」 ・ﾄﾞｷｭﾒﾝﾀﾘｰ映画：東北再興の記録３.１１ ・シンポジウム：東北支援活動、ほか
６月 23 日（土） 15：20～18：50 神戸国際会議場メインホール	日本緩和医療学会市民講座 (06-6441-5860) 無　料	・15：30～演劇：「わが町」鳥の劇場 ・17：20～高齢者の看取りを考える 野の花診療所院長　徳永進氏ほか
７月 14 日（土） 14：00～16：30 兵庫県民会館３０４号室	ゆずりは公開講座 (078-976-5050) 一般 800 円、学生無料	「“兵庫県防災計画”の見直しと」 “要援護者支援マニュアル”について」 ・兵庫県防災対策課（講師：折衝中）
７月 28 日（土） 16：00～19：00 大阪国際会議場５階大ホール	日本臨床腫瘍学会市民講座 (03-5940-2610 事務局代行) 無　料	・講演「がん医療スペシャリストの役割」 各科医師・看護師・薬剤師・MSW ・ﾊﾟﾈﾙﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ「がんのﾁｰﾑ医療について」

関連団体等の「がんサロン」予定（2012 年６～８月）

主催(TEL)・会費・場所	テーマ・主な内容・講師	日　　時
ゆずりは明石「明石話そう会」 (078-911-6761 草野) 無　料 兵庫県立がんセンター １階	患者、家族の悩みを分ち合い 前向いて生きる寄り添える会を 目指しています (時間内であれば参加ご自由です)	・６月４日及び 18 日（月） ・７月２日 ・８月６日及び 20 日（月） 10：00～12：00
ゆずりは明石「明石楽しもう会」 (078-911-6761 草野) 300 円 明石市立保健センター	・6/13 歌声カフェ（５階Ｄ会議室） ・ピアニスト　宍戸真理子氏指導 ・7/18 骨盤姿勢改善ｽﾄﾚｯﾁ（3 階） ・ｺﾞﾑﾊﾞﾝﾄﾞ健康体操　内海正弘氏指導 ・8/15 ラフターヨガとタッピング	・６月 13 日（水） ・７月 18 日（水） ・８月 15 日（水） 10：00～12：00
ゆずりは明石「がん相談」 (078-911-6761 草野) 無　料 明石市立保健センター1 階	「がん」についての無料相談 相談員：ゆずりは明石会員の 看護師・保健師・がん体験者	・ ６月 26 日（火） ・ ７月 24 日（火） ・ ８月 28 日（火） 13：00～16：00
ゆずりは「がんサロン」 (078-976-5050) 500 円（茶菓子代） 地下鉄伊川谷駅構内伊川谷工房	お茶を飲みながら 病や悩みについて 自由に語り合います (時間内であれば参加ご自由です)	・ ６月 26 日（火） ・ ７月 24 日（火） ・ ８月はお休みです 13：30～15：30
神戸医療ｾﾝﾀｰ「コスモスの会」 (078-791-0111、内線 460) 無　料 神戸医療ｾﾝﾀｰ「がん相談支援室」	・苦しみや悩みなどの気持を 自由に語り合い支え合いましょう ・情報の交換をして 知識を高め合いましょう	・ ６月 20 日（水） ・ ７月 18 日（水） ・ ８月 15 日（水） 14：00～16：00
県立淡路病院「菜の花サロン」 (0799-22-1200) 無　料 県立淡路病院１階「医療相談室」	どなたでも 自由に参加されて 自由に語り合いましょう	・ ６月 19 日（火） ・ ７月 17 日（火） ・ ８月 21 日（火） ９：30～11：30
だいとうクリニック「花みずき」 (079-222-6789) 無　料 姫路市白銀町中ノ門ｼｬﾎﾟｰﾋﾞﾙ１階	・患者や家族間のコミュニケーション ・医療情報の提供 ・療養相談全般 ・インターネット検索・ちょっと休憩	・サロン：第 1,3 火曜日 14：30～16：30 ・絵手紙教室：第３月曜日 10：00～13：00